

日本海洋学会教育問題研究会  
2013 年度活動報告および 2014 年度活動計画

2014 年 3 月 12 日作成

登録会員数 42 名 (2013 年 3 月比 +2)

**2013 年度活動報告**

1. COSIA (海洋科学コミュニケーション実践講座) の体験ワークショップ開催  
共催：海洋学会教育問題研究会、海の自然史研究所  
日時：3 月 21 日 (木) 13:00~17:00  
場所：第 6 会場 (講義棟 31 番教室)  
担当：市川洋、今宮則子  
参加者：11 名 (内、教育問題研究会会員：5 名)。7 名が 40 歳未満の若手会員 (内 3 名が学生会員)。3 名が教員。  
開催報告：JOS ニュースレター第 3 巻第 1 号 10-11.
2. シンポジウム「海洋学の 10 年後を考える」における講演  
日時：3 月 21 日 (木) 13:00~17:00  
場所：第 3 会場 (講義棟 32 番教室)  
講演題目「教育問題研究会から」  
担当：上野洋路
3. ナイトセッション「日本の海洋学における人材育成とポストク問題について」開催  
主催：日本海洋学会教育問題研究会、海洋若手会  
日時：2013 年 3 月 22 日 18:00~20:30  
場所：東京海洋大学品川キャンパス白鷹館 1 階講義室 (第 1 会場)  
担当：伊藤進一  
開催報告：JOS ニュースレター第 3 巻第 1 号 13-16.
4. 第 11 回「海のサイエンスカフェ」開催  
日時：2013 年 3 月 23 日 (土)、10 時 30 分-12 時 30 分  
場所：ヴァージンカフェ品川 (東京都港区港南 1 丁目 9 番 32 号 アレア品川別館 207))  
話題：気候変動と海洋生態系-風が吹くとイワシが増える?-  
話題提供：伊藤幸彦 (東京大学大気海洋研究所)  
進行：小橋史明 (東京海洋大学)  
主催：日本海洋学会教育問題研究会  
担当：須賀利雄・市川洋  
参加者：19 名 (一般：10 名、海洋学会員：9 名 (そのうち教育問題研究会会員：9 名))  
開催報告：教育問題研究会ウェブサイト
5. 大学施設を利用した海洋教育の実践  
日時：6 月 21 日 (金) 09:00~12:00、6 月 25 日 (水) 09:30~12:00

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主催：真鶴町

協力：横浜国立大学、NPO 法人ディスカバーブルー、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（NPO 法人ディスカバーブルー）

支援者：横浜国大教員 2 名、真鶴町立「遠藤貝類博物館」職員 2 名

NPO 法人ディスカバーブルー職員 2 名、教育問題研究会 1 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（21 日：1 組、25 日：2 組）、教員 2 名

担当：菊池知彦

教育問題研究会参加者：菊池知彦、乙部弘隆

## 6. 高等学校学習指導要領の平成 25 年度実施開始への対応および今後の改訂に向けての活動

### 1) 地学教育シンポジウム「次期学習指導要領での地学教育のあり方」に参加

日時：5 月 18 日

場所：幕張メッセ国際会議場 3 階 301A 号室

主催：日本地球惑星科学連合教育問題検討委員会

教育問題研究会参加者：市川洋

### 2) 第 18 回 CSERS シンポジウム「新学習指導要領は中学校理科教育をどう変えるか」に参加

日時：5 月 18 日(土)12:50~17:00

場所：化学会館 7 階ホール

主催：CSERS 教科「理科」関連学会協議会

教育問題研究会参加者：間々田和彦

## 7. 2013 年地学オリンピック 8 月合宿研修講師派遣

地学オリンピック日本委員会から海洋学会への派遣依頼に対応

日時：8 月 19 日

場所：海洋研究開発機構（横須賀市）

主催：地学オリンピック日本委員会

内容：海洋学

対象：2013 年地学オリンピック（インド）日本代表選手 4 名、他

派遣講師：市川洋

## 8. 自由集会「日本の海洋学におけるポストク問題の実態解明および討論」開催

日時：9 月 17 日 10:00~12:00

場所：第 6 会場（北海道大学環境科学院 D201 教室）

主催：海洋若手研究者の会、日本海洋学会教育問題研究会、ブレイクスルー研究会

担当：伊藤進一、藤井直紀

## 9. シンポジウム「日本の海洋学における人材育成とポストク問題について（2）」開催

日時：9 月 17 日 13:00~17:15

場所：第 6 会場（北海道大学環境科学院 D201 教室）

主催：日本海洋学会教育問題研究会、ブレイクスルー研究会、海洋若手研究者の会

担当：伊藤進一、藤井直紀

## 10. 第 12 回「海のサイエンスカフェ」開催

日時： 9月21日 10:30~12:00

場所： 三省堂札幌店 ブックス&カフェ UCC（札幌ステラプレイス5階）

話題： 激動する熱帯太平洋とアジアの気候～過去100年の航海から読む気候の歴史

話題提供： 時長 宏樹（ハワイ大学）

進行： 上野洋路（北海道大学）

主催： 日本海洋学会教育問題研究会

共催： 三省堂書店札幌店

参加者： 25名（社会人・学生：14名、海洋学会会員：11名（うち教育問題研究会会員：6名））

開催報告： 教育問題研究会ウェブサイト、JOS ニュースレター 第3巻第4号 11-12.

担当： 上野洋路、川合美千代（協力：難波美帆）

#### 11. 第2回「COSIA（海洋科学コミュニケーション実践講座）体験ワークショップ」開催

日時： 9月21日（土）13:30~17:00

場所： 北海道大学環境科学院D102教室

主催： 日本海洋学会教育問題研究会、NPO 法人海の自然史研究所

参加者： 8名（内6名は教育問題研究会会員、若手会員は2名）

開催報告： 教育問題研究会ウェブサイト、JOS ニュースレター第3巻第4号 10-11.

担当： 市川洋、今宮則子

#### 12. 日本気象学会人材育成・男女共同参画委員会における講演

題目：「日本海洋学会での人材育成・ポストク問題に関する試み」

日時： 11月20日

主催： 日本気象学会人材育成・男女共同参画委員会

講演者： 伊藤進一

#### 13. 国際地学オリンピック 2016 組織委員会委員の推薦

植松学会長から教育問題研究会への適任者推薦依頼に対応

日時： 3月10日

#### 14. その他

##### 1) JOSニュースレターへの「海のエッセイ」投稿

海のエッセイ-3-（松野健） JOSニュースレター第3巻第2号 22.

海のエッセイ-4-（川合美千代） JOSニュースレター第3巻第3号 22.

担当： 岸道郎

##### 2) 陸水学会「学校教育における陸水域を対象とした指導への学術的な疑義に関する調査（依頼）」への回答

幹事会からの問い合わせに対し、本研究会に関連する部分を回答した。

日時： 5月29日

担当： 岸道郎

##### 3) 「女子中高生夏の学校2013～科学・技術者のたまごたちへ～」へのオブザーバー参加

「女子中高生夏の学校」の実験実習プログラムへの参加・出展学会を日本地球惑星科学連合男女共同参画委員会が募集していることが原田幹事から伝えられた。研究会MLで検討し、来年

度からの正式参加に向けて準備を始めることになった。その一環として、今年度大会にはオブザーバー参加した。

日時：8月9日 10:15～17:30

場所：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

参加者：市川洋

担当：大林由美子、川合美千代

#### <情報>

会員がかかわった海洋教育関連活動（抜粋）

##### 1) 出張授業「海とさかなの不思議を学ぼう！」

主催：朝日新聞社・朝日学生新聞社

日時：7月5日

場所：聖ウルスラ学院英智小学校（仙台市）

題目1：太平洋のサーファー「サンマ」

題目2：海水の不思議

講師（情報提供）：伊藤進一

##### 2) 第2回アジア・太平洋水サミット参加報告会

日時：8月2日（金）、3日（土）

場所：九州大学西新プラザ（福岡、2日）、大分県立社会教育総合センター（別府、3日）

主催者：アジア太平洋水フォーラム友の会

（2006年に別府で開催された第1回アジア太平洋水サミットにおけるサイドイベントやエクスカージョンを主催した団体や個人の集まり）

内容：2013年7月にタイで開催された第2回アジア太平洋水サミット参加報告の後、来年度末の「世界水フォーラム」にむけて、今後の九州を中心とし、日本各地ともつながる、水の教育、環境保全活動、地域づくりについて議論した。

報告会世話人（情報提供）：清野聡子

##### 3) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」

日時：8月6日（火）

場所：駿河湾内

題目：海の不思議にふれる 一望星丸は海の実験室

参加者：中学・高校生（35名）、教員・保護者（7名）

講師：轡田邦夫・加藤義久・千賀康弘・澤本彰三・成田尚史

情報提供：轡田邦夫

##### 4) 山のこども・海のこども交歓行事

日時：8月9日（金）

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主催：真鶴町教育委員会

実習内容：夜間のプランクトン採集と観察

参加者：長野県安曇野市の小学校児童50名・教員

講師（情報提供）：菊池知彦

5) 非常勤講師候補者募集の紹介

某私立大学自然科学系で2014年度に開講される海洋学の担当

日時：7月5日

情報提供：岸道郎

6) 第24回海洋工学シンポジウム

オーガナイズトセッション「海洋教育と学校の役割」の企画、講演

日時：2014年3月13・14日

場所：日本大学理工学部 駿河台キャンパス1号館

企画：福島朋彦

講演：菊池知彦「横浜国立大学における海洋教育の展開」

## 2014年度活動計画

1. 第3回「COSIA（海洋科学コミュニケーション実践講座）体験ワークショップ」開催

日時： 3月29日（土）17：30～19：30

場所： 東京海洋大学品川キャンパス講義棟31番講義室

主催： 日本海洋学会教育問題研究会、NPO法人海の自然史研究所

担当： 市川洋、今宮則子

2. 第13回「海のサイエンスカフェ」開催

日時： 3月30日10:00～12:00

場所： ヴァージンカフェ品川

東京都港区港南1丁目9番32号 アレア品川別館207

話題： 海の砂漠の不思議に迫る！

～栄養の少ない熱帯・亜熱帯海域の生物活動が地球環境の鍵を握る？～

話題提供：橋濱史典（東京海洋大学）

進行： 川合美千代

主催： 日本海洋学会教育問題研究会

担当： 上野洋路、川合美千代

3. 高等学校学習指導要領の平成25年度実施開始への対応および今後の改訂に向けての活動

1) JpGU地学教育セッション（一般公開・入場無料）

「次期学習指導要領における高校地学教育のあり方」

日時： 4月29日（火：祭日） 14:15－18:00

場所： パシフィコ横浜 503号室

教育問題研究会参加者：未定

4. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日時：未定

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主催：真鶴町

協力：横浜国立大学、NPO法人ディスカバーブルー、教育問題研究会

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年

担当：菊池知彦、乙部弘隆

教育問題研究会参加者：未定

5. 「女子中高生夏の学校 2014」への参加（詳細未定）

日時： 8 月 7-9 日

場所： 国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

内容：未定、参加者：未定

担当：大林由美子、川合美千代

6. 第 14 回「海のサイエンスカフェ」開催

日時： 2015 年度秋季大会期間中

場所： 長崎市内

話題： 未定、話題提供：未定、進行： 未定、協力：梅澤有

主催： 日本海洋学会教育問題研究会

担当： 上野洋路、川合美千代

7. その他

1) JOS ニュースレターへの投稿

海のエッセイ - 5 - (上野洋路) JOS ニュースレター (投稿済み) .

海のエッセイ - 6 - (藤井直紀)

海のエッセイ - 7 - (未定)

2) 研究会ウェブサーバー移転

担当：岸道郎、藤井直紀

3) 検討中

●市民との海洋研究交流・出前授業支援 (川合美千代)

●メディアとの対話 (市川洋、難波美帆)

●海洋リテラシー普及に関わる映像製作事業 (岸道郎、岩崎望)

4) 前年度からの継続事項

●質疑応答ウェブ立ち上げ (担当：藤井直紀、市川洋、川合美千代)

●海洋リテラシーに関する日台共同調査 (担当：岩崎望、福島朋彦)

●海洋総合検定事業 (担当：市川洋)

日本財団の助成金事業に申請したが不採択となった。現在は中断 (中止ではない) の状態  
(2013 年 1 月 22 日 日本海洋工学会事務局 猪口茂樹氏)。

<情報>

会員がかかわる海洋教育関連活動の予定 (抜粋)

1) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」

日時：8 月 5 日 (火)

場所：駿河湾内

題目：海の不思議にふれる 一望星丸は海の実験室

参加者：中学・高校生 (40 名), 教員・保護者

講師：轡田邦夫・加藤義久・千賀康弘・澤本彰三・成田尚史  
情報提供：轡田邦夫